

作成日：令和元年 12 月 15 日

医療機関：ブルーミントン動物病院（東京都杉並区）

担当獣医師：西村美知子

症例 3

症例カテゴリー：腫瘍・免疫関連疾患

症例名：膀胱癌

使用製品：POC 水 60ml/日 10 ヶ月 ブルーシート併用なし

種類：猫（短毛雑種） 年齢：19 才 7 ヶ月 体重：3.0kg 性別：オス（去勢済み）

【具体的な症状と経過】

2019 年 2 月に血尿が止まらないということで、尿検査を行い異形細胞もみとめられたことから、超音波検査を行い膀胱内に Mass を発見。

オーナーがそれ以上の検査を求めなかった為、POC 療法を開始する。シートは併用できなかったが、POC 水は数日で自ら飲み始めてくれた。飲み始めて 1 週間で血尿は完全に出なくなった。それ以降は POC 水が切れた時に一度血尿が出たが、飲み始めるとすぐに止まった。

超音波検査では腫瘍の縮小がみられるようにも見えたが、膀胱内の貯留尿の量によっても判断が難しく、完全に縮小したとは言い切れないが、腫瘍内がスカスカになっているようにも見える部分もあり、腫瘍のアポトーシスが起きているようにも思える。

年齢も高かったこと、今までもあまり病気をできていない猫さんだったため、検査は殆どできなかったが、臨床症状としては POC 水を飲み始めてから血尿が止まった以外にも、元気になったとオーナーは喜んでいらした。

何か月も血尿も、他の症状も特に出ないまま、2019 年 12 月初旬に静かに穏やかに眠るように息を引き取られたということで、お顔もとても穏やかでした。

【POC 水をご使用頂いた先生のご感想】

この症例は、オーナーも多くを求めなかった為、併用したのは膀胱炎用のレメディだけでしたので、POC 水が癌治療に有効であることを教えてくれた症例だと感じています。

動物への癌に対する医療が人のレベルに近づくのがよいのかどうか…。癌ができて、お水を飲んだら症状が消失し、穏やかに通常の生活を送れた…。それがかなった症例でした。

【飼い主様の声】

POC 水は自ら飲んでくれました。高齢になって喉が渇くようになっていたのもよかったのかもしれませんが。しっかり飲むと血尿が止まりだした初めのころをはっきりと覚えています。

少し元気が無くなってきていた時の発症でしたから、その後お水だけ飲ませていれば良く、他に特に何も症状も出ずで、元気に 10 カ月も過ごせたと思います。

POC 水を勧めてもらい、与えることが出来て本当によかったと思っています。最期もとても穏やかでした。感謝しております。